

観光案内人便

新緑の矢川緑地巡り

新緑の矢川緑地湧水巡り

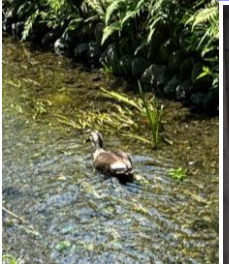
5月20日、久しぶりのガイドツアーに案内人の顔も綻ぶ。参加者も新聞掲載が功を奏したのか、13名の参加で賑わう。ガイドツアーがここ2年間で中止を余儀なくされていた。駅舎での案内人の展示会でパンフレットを見ての参加者もおられる。都内千駄ヶ谷からのお客様もおられた。

朝9時30分、朝早くから集まった参加者。一様に眠そうな顔、顔、顔。10か月の赤ちゃん参加、多士済々。



くくにち散歩「矢川緑地湧水めぐり」 20日午前9時30分、JR南武線西国立駅集合。豊富な湧水や湿地帯の木道が広がる矢川緑地を歩く。収穫体験も。午後0時30分頃、矢川駅で解散。ガイド1人につき6人1グループで開催。マスク着用。先着12人。参加費1200円。イベント名、参加者氏名、住所、連絡先、年齢を記し、電子メール (event@kunimachi.jp) で応募。国立市観光まちづくり協会 (042・574・1199)。小雨決行、荒天中止。

今回の催しは5月13日の読売新聞朝刊にも掲載され、沢山の人が応募してくれた。



みのわ通りから魔界“矢川緑地”に進入。国立の尾瀬



駅から街に出れば早速説明 街路樹のヤマボウシの解説

国立観光案内人 行動記録

第 151 号
2022. 5. 20

矢川緑地巡り



案内図、カルガモ シロダモ、カラ



大分お疲れのご様子 今後は「おんだし」



途中で幼稚園児とすれ違う。

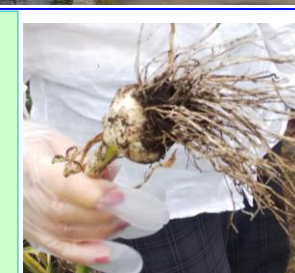


湊案内人の説明にお客さんも真剣そのもの。



市原案内人はムサシアブミの真っ赤な花の写真を紹介

編集後記
五月晴れで多少気温が高くなる予想に熱中症を気にしながらの散策、皆さん熱心に樹木を観察されていた。最後の収穫体験は野菜高騰の折、異口同音に感謝の言葉がもれていた。良かった、良かった。(河本記)



最後は杉田農園での収穫体験、玉葱と大蒜。取り方を指導され、ハサミで調整。取れた玉葱と大蒜。